

令和2年 宮城県内の火災概況（速報値※）

※総務省消防庁へ報告された火災情報を集計、確定値は例年8月頃に公表されます。

（令和2年1月1日から令和2年12月31日まで）

1 出火件数

令和2年の宮城県内の総出火件数は642件で、前年（654件）に比べ12件（1.835%）減少し、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は2.81で、前年（2.84）に比べ0.03ポイント減少しました。1日当たりの出火件数は、平均で1.76件になります。

月別に見ると、4月の出火件数が件（全体比11.53%）で最も多くなっています。また、四季別では昨年に引き続き冬期から春季にかけて火災が多く発生しています。

表1 月別出火件数

区分	月別出火件数												総出火件数	出火率	1日当たり出火件数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
令和2年	64	50	68	74	57	57	34	46	50	32	50	60	642	2.81	1.76
令和元年	57	59	77	91	59	34	40	50	32	41	57	57	654	2.84	1.79
増減件数	△7	9	9	17	2	△23	6	4	△18	9	7	△3	12	—	—

（※出火率：人口1万人当たりの出火件数）

表2 四季別出火件数

区分		四季別出火件数				合計
		春季	夏季	秋季	冬季	
令和2年	件数	199	137	132	174	642
	全体比（%）	31.0	21.3	20.6	27.1	100
令和元年	件数	227	124	130	173	654
	全体比（%）	34.7	19.0	19.9	26.5	100

春季3～5月，夏季6～8月，秋季9～11月，冬季12～2月

図-1 月別出火件数（令和元年・平成30年）

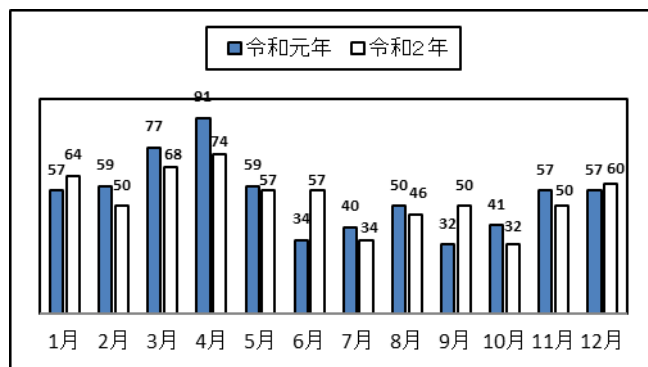
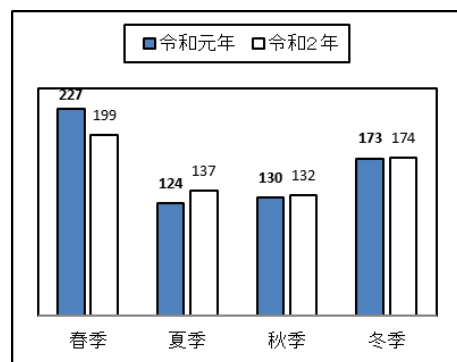


図-2 四季別出火件数



2 火災種別ごとの出火件数

建物火災が 368 件（57.3%）と最も多く、次に車両火災 69 件（10.7%）、林野火災 28 件（4.4%）と続いています。

表 3 火災種別出火件数

区分		火災種別出火件数						合計
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和 2 年	件数	368	28	69	3	0	174	642
	全体比（%）	57.3	4.4	10.7	0.5	0.0	27.1	100
令和元年	件数	356	33	79	0	0	186	654
	全体比（%）	54.4	5.0	12.1	0.0	0.0	28.4	100
増減件数		△ 12	5	10	△ 3	0	12	12

3 出火の原因

出火の原因の第 1 位は「放火」の 67 件、以下「たばこ」の 50 件、「こんろ」の 47 件、「電灯・電話等の配線」の 34 件、「ストーブ」の 31 件の順となっています。

表 4 出火原因別一覧表

順位	出火原因	件数	火災種別内訳					
			建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1	放火	67	36	0	4	0	0	27
2	たばこ	50	31	5	2	0	0	12
3	こんろ	47	44	0	1	0	0	2
4	電灯・電話等の配線	34	23	0	2	1	0	8
5	ストーブ	31	31	0	0	0	0	0
6	たき火	29	7	7	0	0	0	15
8	配線器具	28	22	0	3	0	0	3
10	ストーブ	22	22	0	0	0	0	0
10	排気管	22	1	0	21	0	0	0

4 死傷者

火災による死者は 26 人（うち放火自死者 6 人）で、前年（27 人）に比べ 1 人減少しました。また、負傷者は 111 人で、前年の 96 人に比べ 15 人増加しました。

5 火災損害額

火災による損害額は 1,355,028 千円で、前年（1,279,615 千円）に比べ 75,413 千円増加しました。